



MTS SYSTEMS CORPORATION



グローバル倫理規定

FY19 トレーニング資料

be certain.

この研修を通して、下記の項目を理解して下さい

- ビジネスにおける倫理の重要性
- MTS倫理規定(MTS Global Code of Ethical Business Conduct)の活用方法
- 問題があった際の報告先
- 報復行為に対するMTSの姿勢
- 主なハイライト:
 - 不正行為の防止
 - 国際商取引
 - ビジネス コミュニケーション

MTS 規範: <http://intranet.mts.com/Values/index.htm>

倫理とはシンプルに「正しい行いをする」ということです。

それは、法律や規則を超えた意味を持ちます。

「継続的成長という目標を前に、常に正しいことを成す、ということが今まで以上に重要になっている。優れた業績を残すとともに顧客やビジネスパートナーに当社の理念や信条を示していかなければならない。」

Dr. Jeffrey A. Graves (ドクター ジェフリー・A・グレイブス)

MTS規範: <http://intranet.mts.com/Values/index.htm>

MTS倫理規定があることで、私たち一人ひとりがどのように行動すべきか、共通認識を持つことができます。

どうすれば”正しいことを成す”ということになるのか理解しましょう。

- MTSの社員になったその日から本規定を順守して下さい。
- 私たちは自分自身の行動に責任を持たなければなりません。

MTS倫理規定の全文を読み、理解し、日々実践するようにしてください。なお、本規定は社員・取締役・役員など、全ての社員に適用されます。

MTS規範: <http://intranet.mts.com/Values/index.htm>

規定はMTS理念(Values)に基づいて作成されています

MTS理念(Values)には、MTSは信頼できる唯一無二のビジネスパートナーになるという強い信念が含まれています。

私たちは、日々の組織および個人の活動を通して、当社の理念をより高めていかなければなりません。

倫理規定の内容

- ✓ CEOおよびリスク&コンプライアンス部最高責任者からのメッセージ
- ✓ 倫理問題に関する我々の責任
- ✓ コンプライアンスと重要事項の説明
- ✓ Q&Aや実務上のアドバイス
- ✓ 社内の相談窓口



ACCOUNTABILITY



TOTAL CUSTOMER SATISFACTION



INNOVATION AND PASSION



INTEGRITY



INVEST IN OUR FUTURE



RESPECT



OPERATIONAL EXCELLENCE

MTS規範: <http://intranet.mts.com/Values/index.htm>

皆さんは重要な役割をになっています

- 倫理規定の全文を読みます
- 本規定がどのように日々の業務に関わりがあるか考えます
- 倫理規定、社内の諸規定、関連する法律を遵守します
- 問題があった際はQ&A等を参照し、判断します
- 疑問を持った場合は、行動を起こす前に規定を参照します



Phyllis Nordstrom (フィリス・ノードストロム)
リスク&コンプライアンス部オフィサー

「いかなる規範やマニュアルも、すべての疑問を解決することはできません。私たちの行動がMTSの高い倫理観に沿ったものであるかの判断は、自身の良識次第です。リスク&コンプライアンス部はいつでも皆さんをサポートし、質問に回答し、問題解決のため対応します。」

MTS規範: <http://intranet.mts.com/Values/index.htm>

Speak Up!

当社の倫理規定に反しているのではないかと思う場面に遭遇したら、遠慮なく質問・相談してください。

常に”Speak Up”のカルチャーを持ち続けることで、倫理規定の存在が意味を持ちます。

-
- 何らかの問題に直面した場合は、ためらわずに相談してください。
 - Speak Up(声をあげる)方法はいくつかあります。詳細は10ページをご覧ください。

MTS規範: <http://intranet.mts.com/Values/index.htm>

上司に課せられた責務

- 模範を行動で示します
- 法律や倫理、コンプライアンスの観点から正しい行いがどのようなものか伝え、実践することを促します
- “Speak Up”のカルチャーを根付かせます
- 社員から何らかの報告を受けた場合は速やかに上層部に伝えます
- そういった社員の倫理的行動を認め、評価します
- 社員が必ず倫理トレーニングを受講するようにします



MTS規範: <http://intranet.mts.com/Values/index.htm>

疑問が生じた場合は、行動を起こす前に規定を参照してください

正しい行いに近道はありません。難しい状況に直面した場合は、以下を自分自身に問いかけたうえで意思決定をして下さい。

- これは法律に沿ったものであるか。
- これはMTSの理念に沿ったものだろうか？
- 本社およびローカルの諸規定やプロセスに準拠しているか？
- 自分では間違っていると思うが、それでもしなくてはならないというプレッシャーを感じるか。
- 自分自身の意思決定に誇りを持てるか。



倫理規定では、日々の業務の中でどう行動すべきかを全て網羅することはできません。

また、倫理規定だけで何かを判断・判定することも困難です。ですので、疑問が生じた場合は勇気をもって相談してください。

MTS規範: <http://intranet.mts.com/Values/index.htm>

問題があった際の相談先



直接相談

リスク&コンプライアンス部門、直属の
上司、HR、または各国の倫理委員会



WEB MTS アラートライン <https://alertline.com>



電子メール

リスク&コンプライアンス部門
MTS_Risk_&_Compliance@mts.com



電話 アラートライン番号 888-321-5562

所在国	ダイレクトアクセス番号
北アメリカ	1
中国（北部）	108-888
中国（南部）	108-11
インド	000-117
日本 (KDDI)	00-539-111
日本 (NTT)	0034-811-001
日本 (Softbank Telecom)	00-663-5111
韓国 (Dacom)	00-309-11
韓国 (Korea Telecom)	00-729-11
韓国 (ONSEN)	00-369-11
韓国 (U.S. Military Bases - Dacom)	550-2872
韓国 (US Military Bases - Korea Telecom)	550-4663
ベルギー	0-800-100-10

所在国	ダイレクトアクセス番号
フランス	0-800-99-1011 / 1111 / 1211
フランス (France Telecom)	0-800-99-0011
フランス (Paris Only)	0-800-99-0111
フランス (Telecom Development)	0-805-701-288
ドイツ	0-800-225-5288
イタリア	800-172-444
オランダ	0-800-022-9111
ロシア	8^ 10-800-110-1011
ロシア (Outside Moscow)	8^ 495-363-2400
ロシア (Outside St. Petersburg)	8^ 812-363-2400
ロシア (St. Petersburg and Moscow)	363-2400
スウェーデン	020-799-111
英国 (BT)	0-800-89-0011

アラートラインは匿名で利用できます

MTS社外秘

社 内 文 書

誠実さをもってリード

10ページ



当社では報復行為を許しません



MTSでは、誠意をもって質問を投げかけたり発言した人への報復行為を禁じます

- ☑ 報復行為に関与したものは誰であれ、倫理規定に違反したことになり、解雇を含む懲罰の対象となります。
- ☑ 報復行為について懸念や不安がある場合は、速やかに相談してください。



報復行為とは、問題を報告したり調査に協力した結果、同僚や上司、その他の管理職から処罰や嫌がらせを受けることを言います。



誠意とは、悪意または他を欺こうとする気持ちのない、正直な信念を指します。これは、私たちが常に正しいという意味ではありません。

MTS規範: <http://intranet.mts.com/Values/index.htm>



不正行為の防止



MTSは事業への影響の大小にかかわらず、不正行為や賄賂に対し厳格な姿勢を貫きます。

この方針は、国やそれぞれの慣習にかかわらず、全員に適用されます。

- 賄賂や不正行為の防止に関するMTSの基本方針や対処方法を読み理解して下さい

- 常にMTSの方針と手順に沿って業務を遂行して下さい

MTS規範: <http://intranet.mts.com/Values/index.htm>

海外腐敗行為防止法 (FCPA) とは？

FCPA (海外腐敗行為防止法) は、MTSの社員および当社に代わってビジネスを行う者が、事業を受注/確保するために、あるいは何らかの不当な利益や優位性を得るために、国家公務員に対して賄賂や類似した金品を支払うことを禁じる法律です。

何を:

直接、または第三者を通して、金銭価値のあるものを提供することはできません



誰に対して:

全ての国家公務員、政府が運営する企業の社員、または国家公務員の家族



何のために:

仕事の受注あるいは不当な利益や優位性を得るため

MTS規範: <http://intranet.mts.com/Values/index.htm>

賄賂はどんなに少額であっても違法となります

"Anything of value (何らかの価値のあるもの)"は全て、賄賂となります。
現金のみでなく、幅広く様々なものが賄賂とみなされます。



現金
小切手
郵便為替
ディスカウントの提供
報奨金
キックバック
商品の無料での提供



国家公務員の家族
に対する奨学金など、
間接的な支援



ギフト(現地の慣習を超えたもの)
商品券
ギフトカード
慈善寄付
政治献金



コンサートチケット、
スポーツ観戦チケット、
旅行チケットなど、エンター
テイメント関係



次に挙げるような優遇措置:
資源や装置の使用
設備の使用
融資
仕事の提供
保険金の支払い



次に挙げるようなもてなし:

食事
飲み物
ホテル
トラベル
宿泊
交通機関



このようなもてなしは賄賂とみな
されます:
- 妥当な金額ではない。
- 過度である。
- ビジネス上必要なものとは言え
ない。

国際商取引について



グローバル企業の一社員として国際貿易に関するMTSの規定を熟知し、法律や規制を確実に遵守しなければなりません。

国際貿易に関する法律や規制への違反は違法であり、MTSの価値観に反しています。

- Global Trade Compliance Policyおよび自身に関係する手順を読んで理解してください。
- 不明点があればGlobal Trade Team (Import-Export-Screening-EP@mts.com)にコンタクトを取りアドバイスを求めてください。
- 問題があった場合や違反の疑いがある場合はリスク&コンプライアンス部門 (MTS_Risk_&_Compliance@mts.com)に相談してください。

ORC-008グローバルトレード
ポリシー

私たちの日々の業務は国際取引に関する様々な法律や規制の中で行っています。
一例としては次のような場面があります：

エンジニアリング、製造、オペレーション

例：

製品について漏れなく正確に記述し、関税や輸出時の分類について間違いがないようにしなければなりません

業務内容

- SensorsおよびTestにおけるシステム設計と開発
- ハードウェア、ソフトウェア、知的財産、または技術のアップグレードや販売
- 製品、材料、道具、設備、その他の製造、保管または返品作業

セールス、カスタマーサービス、購買

例：

システムやパーツ、アクセサリ、サービスについて漏れなく正確に記述し、対価に間違いがないようにしなければなりません

業務内容

- 製品、材料、ツール、設備、その他のアイテムの販売または出荷
- 顧客、ビジネスパートナー、その他外部業者との取引 および管理
- 製品、材料、ツール、設備、その他のアイテムの購入または入荷

私たちの日々の業務は国際取引に関する様々な法律や規制の中で行っています。
一例としては次のような場面があります：

ファイナンス、経営企画

例：
支払いや税務処理を正確に適切なタイミングで行わなければなりません

業務内容

- 価格設定やディスカウント、コミッションの決定
- ビジネスパートナーや外部業者との間での支払い業務
- 合併や買収のための調査活動

HR、リスク管理、IT

例：
社員やビジネスパートナーの選考を行う上で、正確に記録したり書類を適切に管理する必要があります

業務内容

- 社員や契約社員の採用
- 海外出張の実施
- オフィスや敷地、情報へのアクセスの許可

ビジネスコミュニケーション



業務およびデータ管理をする上で、承認を受けたコミュニケーションツールおよびソフトウェアのみ使用するようして下さい。

これに従わないことは、倫理規定への違反になります。

- MTS ビジネスコミュニケーションおよび コミュニケーションシステムのポリシーを読んで理解する
- 会社の認定したコミュニケーションツールのみを使用する

IT-002 MTS ビジネスコミュニケーションおよび M
コミュニケーションシステム

ビジネス コミュニケーションとその他のコミュニケーション

ビジネス コミュニケーションには、
MTS 承認のコミュニケーション
ツールのみを使用



ビジネス コミュニケーションの 例

- 契約内容に同意する
- 設計について話し合う
- お客様と交渉する
- システムへのアクセスを許可する
- 新規業者を選定する

その他のコミュニケーションには、承
認されたコミュニケーションツール以
外も利用可能



その他のコミュニケーションの 例

- 会議の時間を確認する
- 会議室の場所を出席者と共有する
- コーヒータイムを設定する
- 会議の日程変更を依頼する

結局のところ、我々が誇りとすべきは一人ひとりの正直さや誠実さ、良識に他ならないのです。

法律やコンプライアンス、倫理規定に対する私たちの責務は、どのような記述をもってしても、完全に定義することは不可能です。

本規定を通して次のことを理解します：

- MTS社員として自分が期待されていること
- 疑問が生じた際の解決法
- 問題に直面した際の相談先

良識を持って次のように行動します：

- 正しい行動をとります
- 倫理的原則およびMTS Valuesに基づいた決断をします

リスク&コンプライアンス部門は様々なサポートを提供し、皆さんから質問や問題の報告があった際は対応します。

MTS 規範: <http://intranet.mts.com/Values/index.htm>